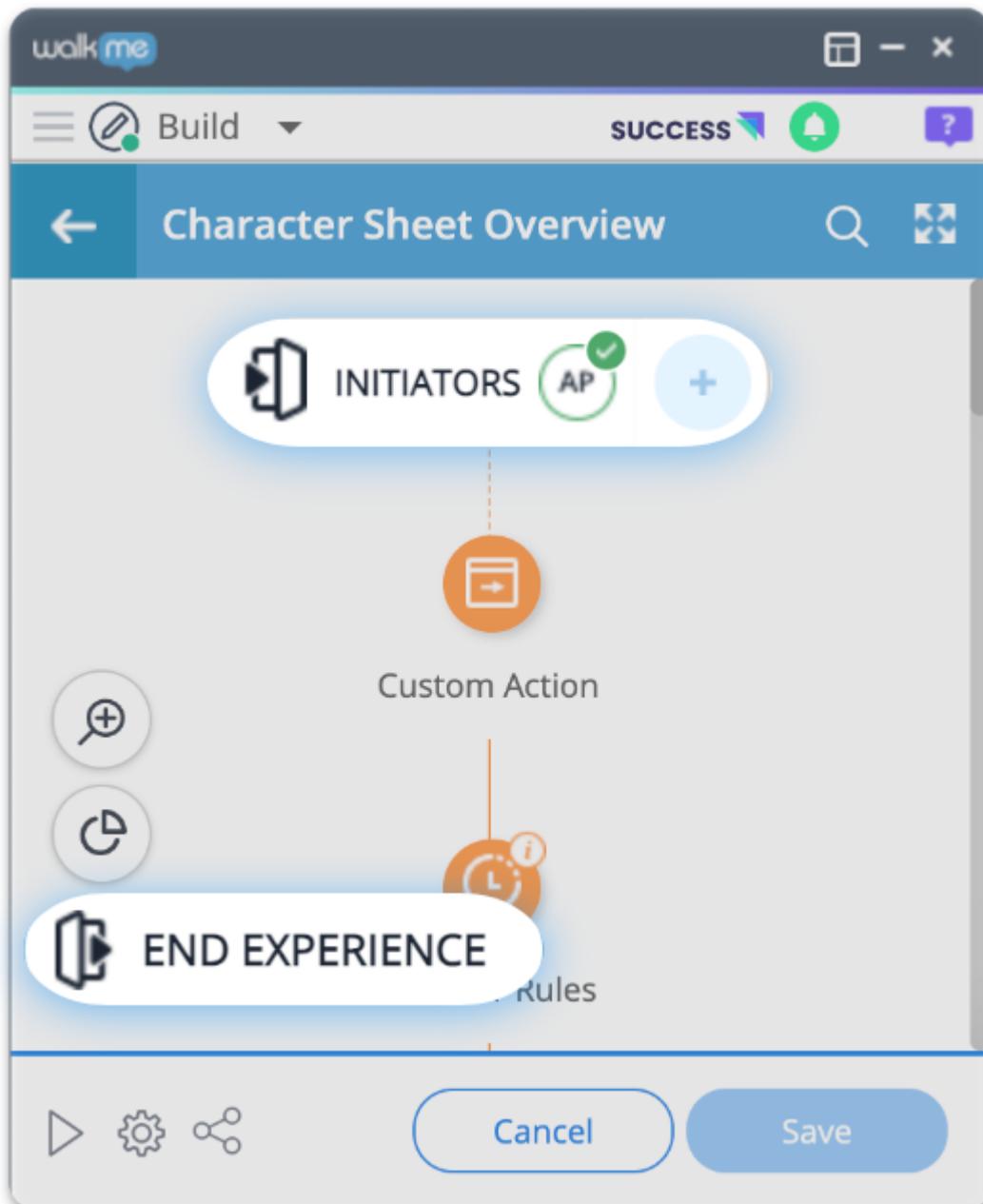


イニシエータおよびエンドエクスペリエンス

概要

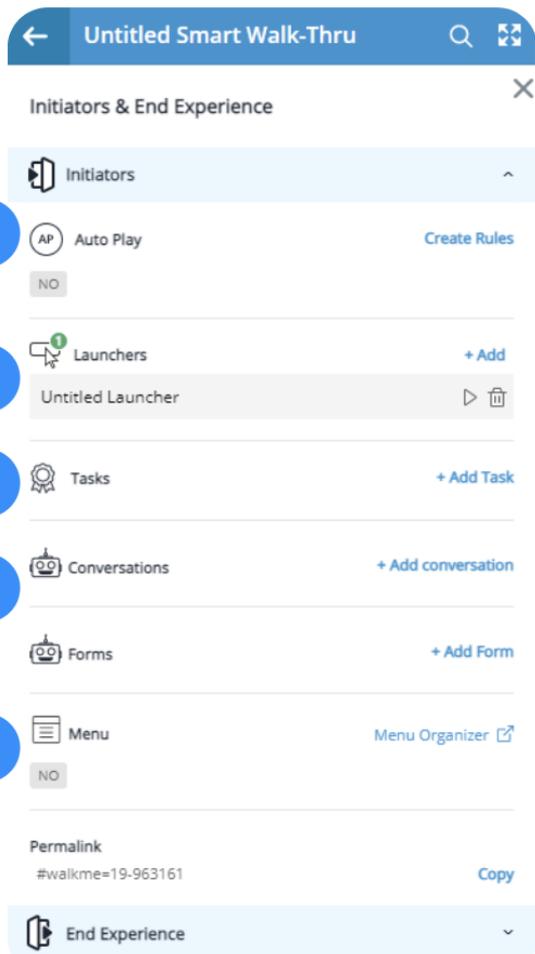
イニシエータおよびエンドエクスペリエンスパネルでは、スマートウォークスルー内から完全なソリューションを構築し、時間を節約し、よりエンゲージメントを促進できます。イニシエータパネルでは、ユーザーがスマートウォークスルーにアクセスする方法と場所を素早く表示できます。エンドエクスペリエンスでは、スマートウォークスルーが終了または完了した後にサーベイを追加するオプションが提供されています。



使用方法

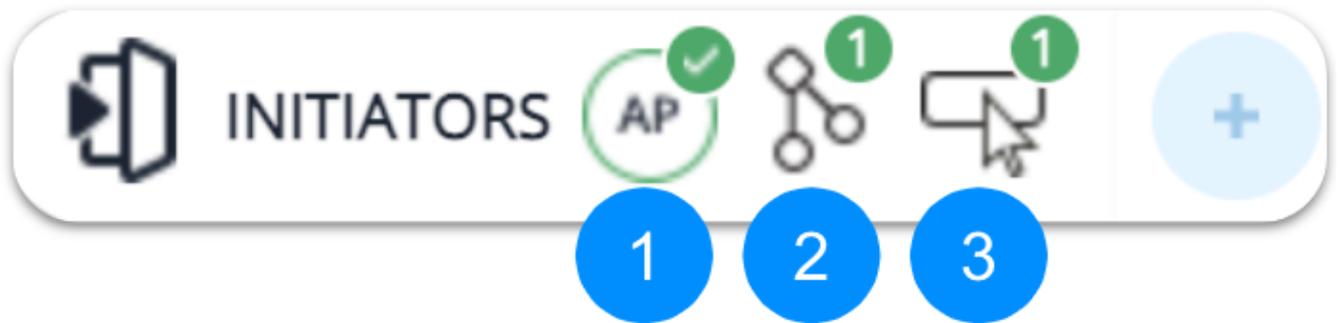
最初のステップを追加すると、上部（イニシエータ）と下部（エンドエクスペリエンス）に2つのボタンが表示されます。

イニシエータ



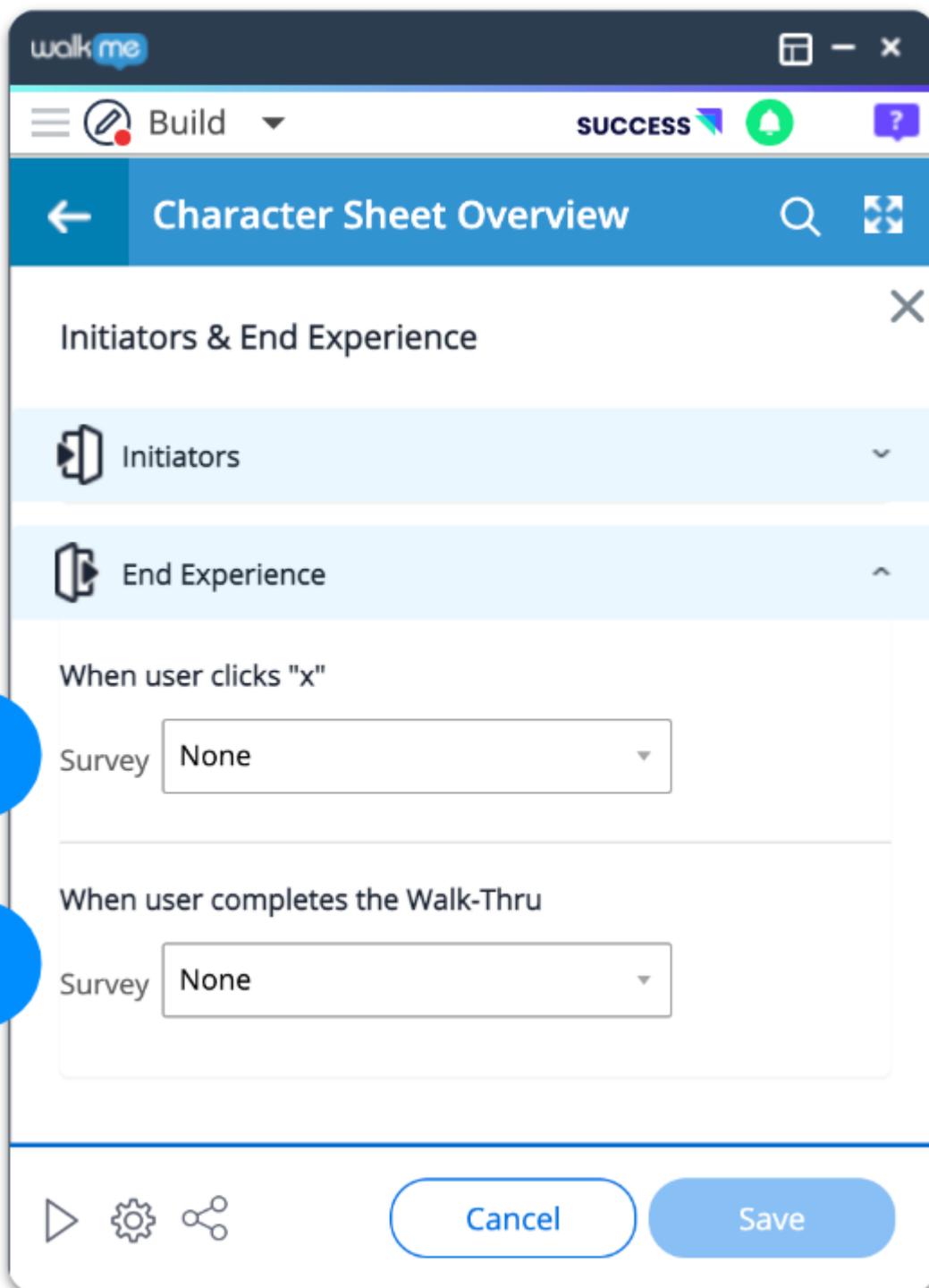
1. [自動再生](#)：このスマートウォークスルーを自動的に開始するルールを設定します。
[オートメーションプロセスとして実行](#)：このスマートウォークスルーを別のスマートウォークスルーと同時に実行できるようにします。注：このフローのすべてのステップは、自動ステップである必要があります。
2. [ランチャー](#)：このスマートウォークスルーを開始するランチャーを作成します。
3. [タスク](#)：スマートウォークスルーは、オンボーディングタスクチェックリストを介してアクセスされます。
4. [会話](#)：アクションボットとの会話を介してこのスマートウォークスルーにアクセスします。
5. [メニュー](#) WalkMeメニューからスマートウォークスルーにアクセスします。メニューオーガナイザーでアイテムを表示または追加します。

選択したイニシエータに応じて、3種類のアイコンがフローの上部に表示されます：



1. 自動再生インジケータには、現在のスマートウォークスルーに自動再生ルールが設定されている場合、緑色のチェックマークが表示されます。
2. **スマートウォークスルーカウンター** これは、ユーザーが現時点で表示しているスマートウォークスルーに接続する「スマートウォークスルーに接続する」ステップを持つスマートウォークスルーをカウントします。このカウントは一意で、たとえば、スマートウォークスルーBにスマートウォークスルーAに2つの「スマートウォークスルーに接続する」がある場合、スマートウォークスルーBのパネルには、接続された1つのスマートウォークスルーの数のみが表示されます。
3. **Launcher**カウンターは現在表示しているスマートウォークスルーを再生するランチャーをカウントします。アイコンをクリックして新しい[Launcher](#)を追加することもできます。

エンドエクスペリエンス



ユーザーが次の場合に、スマートウォークスルーの最後にサーベイを開くことができます：

1. 任意のステップでX(閉じる)ボタンをクリックする。
2. スマートウォークスルー再生の最後のステップが終了した後。

変更の保存：

- 拡張パネルで加えられた変更の保存は、マップの [Save(保存)] ボタンを使用して行います。
- [Launcher Properties(Launcherのプロパティ)] 画面で [Save(保存)] をクリックすると、新しく作成したLauncherが保存されることに注意してください。